

平成 22 年度畜産大賞は、畜産業の地域への多大な貢献が評価され  
地域畜産振興部門の有限会社別海町酪農研修牧場に決まる

平成 22 年 1 2 月 1 7 日  
社団法人 中央畜産会

中央畜産会では、平成 10 年度より日本中央競馬会特別振興資金助成事業（財団法人全国競馬・畜産振興会助成）により、我が国畜産の「経営」「地域畜産振興」「研究開発」のそれぞれの分野で取り組まれている事例のなかから、その内容が合理性、普及性、発展性を有し、今日的・社会的意義のある事例について「畜産大賞」等として表彰をしております。

本年度の畜産大賞の受賞事例については、1 2 月 1 7 日に開催した中央全体審査委員会（審査委員長：学校法人二本松学院学院長 宮崎 昭氏）において、地域畜産振興部門最優秀賞の「家族と大草原で牛飼いをしませんか」

～深刻化する担い手不足対策のための新規就農者支援システム～  
（有限会社別海町酪農研修牧場）に決定しました。

選考は、「経営」「地域畜産振興」「研究開発」の 3 部門の審査委員会において、農業・畜産関係団体、学会等より推薦された事例と一般公募事例を書類および現地確認等で審査し、各部門の最優秀賞、優秀賞および特別賞を決定、さらに各部門の最優秀賞の中から畜産大賞 1 点を中央全体審査委員会において決定する方式で実施しました。

なお、業績発表ならびに表彰式は、平成 23 年 1 月 28 日（金）13 時 00 分より機械振興会館（港区芝公園）で開催します。

<本件に関するお問い合わせ>

○中央畜産会事業第一統括部（情報業務担当）

担 当：三上、田形

TEL：03-6206-0845 FAX：03-5289-0890

E-mail：t\_mikami@jlia.jp

E-mail：a\_tagata@jlia.jp